

第二期 新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会 第七回（平成 24 年 9 月 25 日） 傍聴者意見

【考え方】廃棄物から~~掛~~貴重物へ

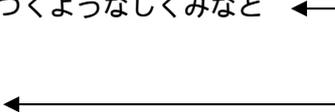
エコプラザを環境啓発施設（拠点）と位置づけることによって、情報ネットワークが構築され、人と人の出会いを創り出し、それをきっかけに化学反応＜ 1＞を起こし、新しい発想が生まれる可能性が大きいと思われる。市内の市民活動団体（NPO 法人なども）＜ 2＞含め、エコプラザでの活動を実施してみたいと考えている人たちは少なくない。運営（企画）にあたっては、公募してみることも一つの方法かもしれない。

塩澤委員から出された課題、“リペア”について

今、武蔵野市では、秋に実施する「青空まつり」で包丁研ぎや傘修理のコーナーがとても好評だときいています。イベントのみで終わることなく、日常的に実施できる場所と必要に応じて出張できる（コミュニティセンターなど）しくみづくりも検討することと、道具の修理、たとえばのこぎりの目立て＜ 3＞も含めて技術の継続も考えなければ・・・と感じるのですが。以前協力した生ごみ実験のその後はどうなっているのでしょうか。他自治体と協力して研究中という・・・

- ＜ 1＞たとえば、失われつつある日本の技術を引きつぐようなしくみなど
- ＜ 2＞特に障がい者の雇用創出の面も望める
- ＜ 3＞今や全国でどれくらいの職人がいるのか。

リペアの技術の継承を
図ることもある



〔要望〕資料ナンバーをふった方が、今後、検討する上で便利なのではないでしょうか。